

秒速5センチメートル

いつも、どこかに、その人は――

いつか、どこかで、その人に――

10月10日(金)公開

松村北斗

高畑充希

森七菜

青木柚

木竜麻生

上田悠斗

白山乃愛

岡部たかし

中田青渚

田村健太郎

戸塚純貴

蓮見翔

又吉直樹

堀内敬子

佐藤緋美

白本彩奈

宮崎あおい

吉岡秀隆

監督 奥山由之

原作 新海誠

主題歌：米津玄師「1991」(Sony Music Labels Inc.)

劇中歌：山崎まさよし「One more time, One more chance」(ユニバーサルミュージック)

脚本：鈴木史子 音楽：江崎文武

©2025「秒速5センチメートル」製作委員会 ©TOHO

# “新海ワールド”の原点、 初の実写映画化。

「自分でも驚いたことに、泣きながら観ていた。  
『秒速5センチメートル』を作っておいて良かったと、  
心から思えた。」—— 新海誠（原作）

1991年、春。

東京の小学校で出会った貴樹と明里は、互いの孤独に  
そつと手を差し伸べるようになって、少しずつ心を通わせていった。  
しかし、卒業と同時に、明里は引越してしまふ。

離れてからも、文通を重ねる二人。  
相手の言葉に触れるたび、たしかにつながっていると感じられた。

中学一年の冬。

吹雪の夜、栃木・岩舟で再会を果たした二人は、  
雪の中に立つ一本の桜の木の下で、最後の約束を交わす。

「2009年3月26日、またここで会おう」

時は流れ、2008年。

東京で働く貴樹は、人と深く関わらず、閉じた日々を送っていた。  
30歳を前にして、自分の一部が、

遠い時間に取り残されたままだと気づきはじめる。

そんな時にふと胸に浮かぶのは、  
色褪せない風景と、約束の日の予感。

明里もまた、あの頃の思い出と共に、  
静かに日常を生きていた。

18年という時を、異なる速さで歩んだ二人が、  
ひとつの記憶の場所へと向かっていく。

交わらなかつた運命の先に、二人を隔てる距離と時間に、  
今も静かに漂うあの時の言葉。

——いつか、どこかで、あの人に届くことを願うように。

大切な人との巡り合わせを描いた、淡く、静かな、約束の物語。



製作：白井裕詞 川口典孝 市川南 プロデューサー：玉井宏昌 佐野大 ラインプロデューサー：小林祐介 助監督：鈴木雄大 撮影：今村圭佑 照明：上野甲子朗 美術：井上心平 編集：平井健一 録音：佐藤雅之  
スタイリスト：小山田孝司 ヘアメイク：小西神土 正田篤子 装飾：遠藤善人 大和昌樹 VFX：前光則 CG：伊剛志 カラリスト：小林千乃 音響効果：中村佳央 スクリプター：工藤みずほ  
制作担当：大川裕紀 伊東祐之 プロダクションマネージャー：増田幹 製作：フジテレビジョン コミックス・ウェーブ・フィルム 東宝 制作プロダクション：スプーン 配給：東宝

劇場内での映画の  
撮影・録音は犯罪です。  
www.eigaikan.org  
0120-550098